

シンポジウム「衛生・公衆衛生学における学術研究と個人情報保護
ー疫学研究・統計調査の円滑な推進とデータの有効活用のためにー」

1. 主催 日本学術会議 臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同
パブリックヘルス科学分科会

2. 日時 平成 19 年 3 月 28 日（水）14：00-18：00

3. 場所 大阪国際交流センター

4. 開催趣旨

プライバシーの尊重と個人情報の保護が強調されるのにもなって、疫学研究・統計調査について、個人や行政の協力を得ることが困難になりつつある。こうした動向は、疫学研究・統計調査の精度の劣化や、研究の停滞などをもたらすおそれがある。また、政府統計資料等について、多くの研究者が多角的に活用できるようにすべきだとの指摘が強まっている。これらの問題について、パブリックヘルス科学領域での学術研究を推進するにあたって、どのような視点と方策を採るべきか、分野横断的に討議する必要があると考え、シンポジウムを企画した。

5. 分科会の開催 パブリックヘルス分科会を大阪国際交流センターにおいて開催

6. プログラム

挨拶 岸玲子(北海道大学大学院医学研科社会医学専攻予防医学講座教授 日本学術会議
会員、日本学術会議基礎医学委員会・健康生活・科学委員会合同パブリック
ヘルス科学分科会委員長)

座長 小林章雄(愛知医科大学医学部衛生学講座教授、日本学術会議連携会員、日本学
術会議パブリックヘルス分科会幹事)

實成文彦(香川大学医学部人間社会環境医学講座教授、日本学術会議連携会員、日
本学術会議パブリックヘルス分科会副委員長)

報告者

山縣然太朗 (山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学教授)

大島 明 (大阪府立成人病センター調査部長、日本学術会議特任連携会員)

村田勝敬(秋田大学医学部社会環境医学講座教授、日本学術会議連携会員)

圓藤吟史(大阪市立大学大学院医学研究科産業医学・都市環境医学教授、日本学
術会議連携会員)

毛利一平 (独立行政法人労働安全衛生総合研究所主任研究員)

笠島 茂 (国立保健医療科学院公衆衛生政策部行政政策室長)

中山建夫 (京都大学大学院医学研究科社会医学系専攻健康情報学分野教授)